

近畿病院図書室協議会第35回勉強会

研修部

日 時：2012年9月8日（土）10:00～17:00
場 所：大阪医療技術学園専門学校 第3校舎
3階PCルーム

テーマ：臨床支援ツールにふれてみよう

プログラム：

1. 近畿病院図書室協議会 新HP説明会
株式会社アルファミクス 後藤田恵美 氏
2. Up to Date
Up to Date 日本事務所 大崎 重治 氏
3. The Cochrane Library
株式会社サンメディア e-Port 東京フィス
長谷川智史 氏
4. DynaMed
EBSCO Publishing 大野 充章 氏
5. ACP-PIER
ユサコ株式会社 箱井 孝 氏

参加者：36名

午前は、「近畿病院図書室協議会 新HP説明会」が行われた。

2012年9月より当協議会のホームページがリニューアルされた。それに伴い、新たに加わった機能の使い方や特徴を講義していただいた。コミュニティサイトが開設され、今まで以上に会員間でコミュニケーションが取りやすくなった。今後、質問コーナーなどのコンテンツを

作ってほしいという意見も寄せられた。一新されたホームページが、気軽に意見交換ができる場所となることが期待される。会員の皆さまには、このホームページを活用し、ぜひ業務に生かしていただきたい。

午後は、「臨床支援ツール」について各社より説明していただいた。

参加者の皆さまに、4つの臨床支援ツールをPCで実践していただいた。それぞれのシステムの特徴を知ることができた。

インターネットを利用した臨床支援ツールは、いわば最新の教科書のようなものである。昨今、EBMに基づく医療の提供が推進されている。EBMのステップである「情報収集」は、より信頼できる情報をすばやく手に入れることが求められる。その中で病院図書館員もチーム医療の一員として、情報収集の手助けをしていかなければならない。これらのシステムを使いこなすことにより、図書館員の質の向上にも繋がるのではないだろうか。

今回の勉強会は、すでに導入されている病院はもちろん、導入を検討されている病院にとっても、それぞれのシステムにふれることができる貴重な機会となった。

（文責：山口智子／奈良社会保険病院）